

浴室化粧鏡 キレイ鏡メンテナンスキット(MCS-1) —取扱説明書—

- 工場加工のキレイ鏡に比べて、キレイ鏡メンテナンスキットの効果持続年数は劣ります。
- ご使用前に本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本説明書はシステムバスルーム取扱説明書と一緒に保管してください。

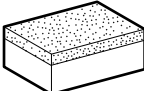
【安全上のご注意】

警告

- 絶対に吸入したり、飲んだりしないでください。
- 引火性がありますので、火気のある場所で使用したり、火気を近づけないでください。
- 作業時は十分に換気してください。
※気分が悪くなる場合があります。
- 皮膚の弱い方はゴム手袋をお使いください。
※素手で取り扱うとかぶれる恐れがあります。

お願い

- 用途以外には使用しないでください。
- プラスティック製品、ゴム製品、塗装面などに付着させないようにしてください。
※変形、変色する恐れがあります。付着した場合は、速やかにふき取るか、水で十分に流して除去してください。
- キレイ鏡以外の表面加工の鏡、樹脂や金属製の鏡には使用しないでください。
- コーティング後にアルカリ性洗剤、研磨剤入りの洗剤を使用すると、コーティングの効果が損なわれますので使用しないでください。

名称	キレイ鏡メンテナンスキット (MCS-1)								
セット内容	A.コーティング液・主剤			B.コーティング液・副剤		スポンジ			
	用途	性能回復用の液剤		用途	性能回復用の液剤				
	成分	フッ素系撥水剤、シリコーン n-ヘキサン		成分	2-プロパノール、メチルエチルケトン、酸性水溶液	中栓			
	液性	中性	正味量	6ml	液性		酸性	正味量	6ml
	危険物第四類第一石油類 危険等級Ⅱ 非水溶性 火気厳禁			危険物第四類第一石油類 危険等級Ⅱ 非水溶性 火気厳禁					
	X.仕上げ剤			Y.ガラス磨き剤			本説明書		
	用途	仕上げふき取り剤		用途	キレイ鏡の汚れの除去				
	成分	変性アルコール、水		成分	研磨材 (20%酸化セリウム系 鉱物)、水、懸濁安定剤				
液性	中性	正味量	20ml	液性	弱アルカリ性			正味量	40g
危険物第四類アルコール類 危険等級Ⅱ 水溶性 火気厳禁			非危険物 非水溶性						
保管方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直射日光に当たるところ、高温になるところ、水・湿気の多いところには保管しないでください。 ・ お子様の手の届かないところに保管してください。 								
破棄方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーティング液・仕上げ剤がついたティッシュペーパーなどは、安全な場所（屋外など）で蒸発させてから可燃物として破棄してください。 ・ コーティング液・仕上げ剤の容器に残った液は、ティッシュペーパーなどに含ませ、安全な場所（屋外など）で蒸発させてから可燃物として破棄してください。 ・ ガラス磨き剤はティッシュペーパーなどに含ませ破棄してください。 ・ 容器については自治体の指示に従い捨ててください。 								
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 万一飲み込んだ場合には、無理に吐かせず、医師の診断を受けてください。 ・ 万一目に入った場合には、こすらずに直ちに水で十分に洗い流してください。 ・ 顔や皮膚についた場合には、水で十分に洗い流してください。 ・ 使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに使用を中止してください。 ・ 上記について異常がある場合は、医師の診断を受けてください。 			 一般注意 引火性注意					
販売元 問合せ先	株式会社INAX 愛知県常滑市鯉江本町5-1 お客さま相談センター フリーダイヤル 0120-1794-00 平日9:00~18:00 土日・祝日10:00~18:00 (夏季、年末年始の休みは除く)								

【ご使用方法】

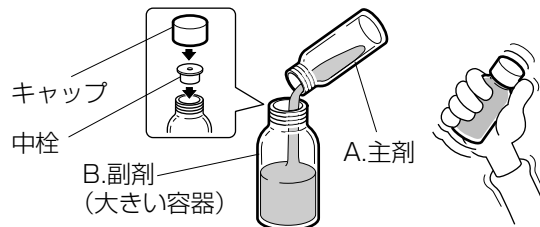
乾燥などの時間や準備事項を事前に確認の上、また手順をよく読み作業を始めてください。

- ・室温（鏡）が約15℃～30℃になるよう調整してください。
- ・コーティング液混合後、30分以上放置が必要になります。また、混合後は1週間以内に使用してください。
- ・コーティング液塗布後、3時間以上乾燥させてください。

1 コーティング液の準備

コーティング液を混合し、前準備をします。

- (1) 〈A.主剤〉全量を〈B.副剤〉が入っている容器に移します。
- (2) 〈B.副剤〉の容器に「中栓」、キャップをはめます。
※中栓は使用中に液が出過ぎないようにするためです。
- (3) 〈B.副剤〉の容器をよく振り、30分以上放置します。



2 前処理

コーティング液をムラなく塗布するために、鏡に付着した汚れ（水アカなど）を除去します。

- (1) 鏡表面の汚れを洗い流します。
- (2) 〈Y.磨き剤〉のボトルをよく振り、水を少し含ませたスポンジの黄色い面に〈Y.磨き剤〉を適量（10円玉の大きさ）付け、15cm四方を目安に少しずつ擦ります。
※水で洗い流した際に、全体に水膜が張り、水を弾く部分がなくなるまで繰り返します。
- (3) 〈Y.磨き剤〉を約40℃のお湯で十分に洗い流し、キレイなタオルで水分をふき取り、十分に乾かします。
※〈Y.磨き剤〉をつけたまま放置し乾燥させないでください。
※〈Y.磨き剤〉がついた状態では〈コーティング液〉が上手く塗布できません。
※鏡フックやフレーム、カウンターなどについた〈Y.磨き剤〉はよく洗い流してください。
- (4) 鏡に水アカ等の汚れがないことを確認してください。



3 コーティング液の塗布

鏡全面に塗布します。（塗布されていない部分は性能が発揮されません。）

(1) 準備

●温度調節

鏡の温度が約15℃～30℃になるよう、必要に応じて温度調節を行います。

(2) コーティング液の塗布

ティッシュペーパーを折りたたみ、①で準備したコーティング液を含ませ、直線的に塗り広げます。

※塗り残しなく塗布するために、縦、横の各2回ずつ塗ることをおすすめします。

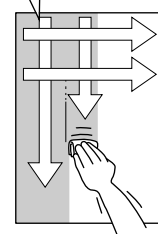
※塗布した面が薄白くなれば、コーティング液が塗れたサインです。

※鏡から少し離れて斜めから見ると、わかりやすいです。

(3) 十分に乾燥させてください。

※効果を持続させるため、3時間以上乾燥させます。

薄白くなればOK



【ワンポイントアドバイス】

黒っぽい服を着用し作業を行うと、塗れていない部分が分かりやすいです。

4 仕上げ

「③コーティング液の塗布」で白くなった部分をふき取ります。

- (1) ティッシュペーパーなどに〈X.仕上げ剤〉を適量付け、白い部分（余剰分）をふき取ります。
- (2) ふき取りの途中で、ティッシュペーパーなどのふき取り材を取り替えると、ふき取りやすくなります。ふき残しがないように仕上げふきをします。

